

【別紙】

「第7回UEC杯コンピュータ囲碁大会」開催案内

日程：2014年 3月15日（土）予選（変形スイス式による16プログラム選抜）

3月16日（日）決勝（トーナメントによる順位戦）、

エキシビジョンマッチ（優勝プログラムと電通大囲碁部学生との互先）

解説会：3月16日（日）13:00～（予定） 於：電気通信大学 西9号館3階AVホール

＜解説＞マイケル・レドモンド九段 ＜聞き手＞大澤奈留美四段 による解説会

概要：国内外から、20以上のプログラムが参加する大きな大会へと成長。大会は2日間開催される。国際的に見ても、最大規模の大会になっている。以下の主催、協賛を中心に毎年開催されている。

主催：電気通信大学エンターテイメントと認知科学研究ステーション

協賛：東進ハイスクール／東進衛星予備校、株式会社 囲碁将棋チャンネル

後援：公益財団法人 日本棋院、一般社団法人 人工知能学会

協力：コンピュータ囲碁フォーラム

URL: <http://jsb.cs.uec.ac.jp/~igo/>



目的：ゲームを題材とした研究の歴史を振り返ると、チェスを題材にして、人工知能、認知科学、探索、パターン認識、データマイニング、最適化技術等々、実に様々な分野の研究が活性化したという歴史がある。世界に広く普及した思考ゲームの中で最も探索空間の広い囲碁は、コンピュータにとって最も難しい課題であると言われている。

本大会を通じて、開発者に、その成果を披露する場を提供すると共に、学術的、技術的交流のある大会にしていきたいと考えている。そのため、近年通信によるネット大会も増えている中、敢えて開発者が一同に会して、互いのプログラムについて技術的に交流できる場として機能していきたい。

<特色／見どころ>

決勝がトーナメントによる1発勝負の対戦で、スリリングな展開が楽しめ、決勝に近づくほど好カードが期待できる。今年も、Crazy Stone（仏）とZen（日）のツートップの優勝争いから目が離せない。ネット棋戦でAya（日）に勝利するなど、最近急成長のDolBaram（韓）が台風の目となるか？

<過去の大会>

回	開催日	参加 (海外)	優勝	準優勝	第3位
第1回	2007年12月1,2日	28(2)	Crazy Stone (仏) Rémi Coulom	勝也 (日) 清 慎一	MoGo (仏) Sylvain Gelly
第2回	2008年12月13,14日	24(4)	Crazy Stone (仏) Rémi Coulom	不動碁 (日) 加藤英樹	Many Faces of Go (米) David Fotland
第3回	2009年11月28,29日	28(4)	KCC 囲碁 (朝) ChoSangHyon	勝也 (日) 清 慎一	Zen (日) Team Zen
第4回	2010年11月27,28日	28(5)	Fuego (加) Richard Segal	Zen (日) Team DeepZen	Erica (台) Shih-Chieh Huang
第5回	2011年12月3,4日	24(4)	Zen(日) Team DeepZen	Erica (台) Shih-Chieh Huang	Aya (日) 山下 宏
第6回	2013年3月16,17日	22(4)	Crazy Stone (仏) Rémi Coulom	Zen(日) Team DeepZen	Aya (日) 山下 宏